

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立みはら歴史博物館	
(2) 施設の設置目的	
美原区の区域における歴史、風土等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、その教養の向上と文化の発展に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 博物館 学芸課	
(4) 指定管理者名	
アクティオ株式会社	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">施設の運営に関する業務施設等の維持管理に関する業務学芸に関する補助業務歴史・文化事業の実施	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・利用者に対して丁寧な対応を行っている。また、利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、常に施設の状況把握を行い、状況の変化や不具合等があれば速やかに市に報告し、その対応も迅速かつ的確である。 ・個人情報については、関係する文書等を所定の場所に整理・保管するなど、厳重に取り扱っている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・適切な職員配置ができており、接遇、人権、個人情報保護等に関する研修などにより人材育成にも取り組み、利用者サービスの向上を図るとともに安全・安心で効率的かつ効果的な施設の運営ができるよう、職員の資質向上に努めている。 ・施設の点検を適切に行い、施設の維持管理が適正に行われている。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、歴史文化普及事業について事業実施ができなかった学校があったものの、他の事業の実施時期を変更するなどにより、仕様書で定める事業は概ね実施できている。
その他特筆すべき取組	近隣他都市の博物館や学術機関と連携し、事業の充実を図っている。

イ 市による状況分析

・職員の適正な配置などにより、本施設への大きなクレームは発生していない。また、聞き取りによると、継続的に職員の知識や技術の向上を図っているとのことから、今後さらに安全・安心かつ魅力ある施設として運営を期待できるものである。
・他施設との連携についても取り組んでおり、今後とも期待したい。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名		アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
利用者数(単位:人)		26,497	36,543	55,754	—
稼働率(単位:%)		9.0	15.0	33.0	—
利用者満足度(単位:%)		84.0	80.0	80.8	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・歴史講座や子ども向けのイベント等、多様な事業の企画、実施を行っている。 ・また、事業実施の周知については、ホームページ、パンフレット等のほか、美原区内の学校への周知など、あらゆる機会を捉えてPR活動を行った。
意見・苦情・要望等への対応	利用者アンケートの実施により、利用者の意見や要望の把握に努めている。また、クレーム等が発生した場合は速やかに市に報告し改善策を提出の上、細やかに対応している。
その他特筆すべき取組	利用者から大きなクレーム等はなく、適切な施設運営がなされている。

ウ 市による状況分析

・歴史講座や子供向けのイベント等、地域に根差した取組を行っており、コロナ禍の中にありながらも、利用者数において、市が直営で運営していた時期を上回る実績を上げている。
・また、利用者アンケートの実施などにより、常に利用者の意見に気を配り運営に反映することで、クレームの発生を抑えるだけでなく施設そのものの魅力向上にも寄与しているものとする。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
指定管理者名			アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
収入	指定管理料		40,870,046	39,729,499	40,792,975	40,684,000
	利用料金		859,165	1,182,130	1,546,105	1,350,000
	負担金		0	0	0	0
	その他		11,295	8,058	12,039	0
合 計		0	41,740,506	40,919,687	42,351,119	42,034,000
支出	人件費		16,575,420	18,105,443	19,695,181	17,293,000
	委託料		7,006,509	6,997,350	7,211,438	8,789,000
	総支出額に占める 委託料の割合		18.4%	17.9%	16.9%	20.9%
	修繕費		921,250	727,925	850,322	700,000
	光熱水費		3,216,494	3,666,699	5,190,346	5,362,000
	その他		10,350,369	9,574,130	9,688,609	9,890,000
合 計		0	38,070,042	39,071,547	42,635,896	42,034,000
収支差額		0	3,670,464	1,848,140	-284,777	0
(市への納付金の額)			—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■自主事業 (有)

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入			29,920	195,320	92,484	89,000
支 出			23,936	261,430	232,067	80,110
収支差額		0	5,984	-66,110	-139,583	8,890
(市への納付金の額)			—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	空調設備の温度調整について、日々、温度や天候に応じて、こまめに設定変更を行った。また、諸室の照明のオンオフや電化製品のコンセントを抜くなど徹底している。
------------	--

ウ 市による状況分析

<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、節電や節水を心掛け、消耗品の購入も必要最低限に努めている。 ・令和2年度より、電気契約を見直すなど経費縮減を図ってきたが、令和4年度は光熱費高騰の影響から光熱水費の支出額が大幅に増加し、収支差額も赤字となった。 ・再委託業務の契約内容や物品の調達方法を見直すなど、今後とも支出の削減に取り組んでほしい。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
展示室観覧者数	年間5千人以上	5,198人
ホール稼働率	年間25%以上 年間8千人以上	33% 16,434人
ギャラリースペース観覧者数	年間2万2千人以上	34,122人

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
歴史・文化事業実施回数	年間32回以上	48回

■ 収支

指標	目標	実績
利用料収入	年間1,100千円以上	1,289,425円

イ 市による状況分析

・令和4年度においては、公益財団法人大阪府文化財センターとの共催による「ららぽーと堺の下に眠る歴史！」を実施した。黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査が注目される中、タイムリーなパネル展を開催し、多くの来館者を招いた。様々な取組により、利用者数、利用料収入も年間目標を上回った。
 ・また、地域コミュニティとの連携を重視し、地域住民の作品による写真展や絵画展を実施するなど、創意工夫を凝らし、各種目標設定をクリアしている。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・開館20周年を迎えた令和4年度は、新型コロナによる影響が減少したことにより、ほぼ順調に事業活動を行うことができた。来館者数も回復し、各目標・水準等を達成した。 ・ホール利用についても順調に推移し、それに伴い利用料収入も目標金額以上の水準に達した。 ・また20周年記念事業を実施したこと等により、広く館の周知に結び付けることができた。 	博物館としての専門的な歴史講座に加え、市民コミュニティとしての役割から娯楽的な側面で寄席、コンサート、映画等の開催することで、地域からだけでなく、遠方からのリピーターも多く来られると聞く。多様なイベントを開催し、新たな顧客を獲得に向けて取り組んでいる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安心・安全な施設運営に努め、より魅力的な事業の企画・実施を図る。 ・快適に観覧できるよう、環境整備に努める。 	コロナ禍も収束し、民間ならではの視点で多様な催しを企画し発信することで着実に来館者が増加している。今後とも、創意工夫を重ね、広く愛される館運営に取り組んでほしい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの